

Steroids Use in Non-Oxygen requiring COVID-19 Patients: A Systematic Review and Meta-analysis.

Sahu AK et al. QJM 2021; Online ahead of print.

DOI:10.1093/qjmed/hcab212

全文 URL: <https://academic.oup.com/qjmed/advance-article/doi/10.1093/qjmed/hcab212/6339640>

酸素投与を必要としない COVID-19 患者における副腎皮質ステロイド使用： システマティックレビューとメタ解析

副腎皮質ステロイドは重症 COVID-19 の主要な治療法となっているが、軽症 COVID-19 における有用性は定まっていない。著者らは、酸素投与を必要としない軽症 COVID-19 患者における副腎皮質ステロイドの効果を評価するために、システマティックレビューとメタ解析を行った。

副腎皮質ステロイド投与とアウトカム（死亡、重症化への進展、発熱期間、入院日数、など）の関連を、酸素投与を必要としない COVID-19 患者において検討した研究を、下記のデータソース（PubMed、EMBASE、Web of Science、medRxiv）を用いて、2019年12月31日から2021年5月14日まで検索した。吸入ステロイドに関する研究、症例報告は除外した。量的データの統合は逆分散法を用いて行い、副腎皮質ステロイド投与の有無による各種アウトカムのオッズ比（OR）と95%信頼区間（95%CI）を推定した。各研究間の異質性はI²統計量で評価した。

7件の研究（2,214名の患者）を分析に含めた。酸素投与を必要としない COVID-19 患者において副腎皮質ステロイドを投与された患者は投与されていない患者と比較して、死亡（OR 1.35、95%CI：1.01-1.79、I²=0%）、重症化（OR 5.97、95%CI：1.27-27.99、I²=0%）のリスクが増加していた。発熱期間（7.4日 vs. 6.7日）や入院期間（20.8日 vs. 15.2日）も副腎皮質ステロイド投与群は非投与群と比較して有意に長かった。

要約作成者のコメント：

今回紹介した論文で、著者らは重症度の低い（酸素投与を必要としない）COVID-19 患者に対する副腎皮質ステロイド投与は有益性がない可能性を、システマティックレビュー・メタ解析であらためて示しています。わが国でも COVID-19 感染拡大に伴い、デキサメタゾン製剤の供給不足が起こっており、副腎皮質ステロイド投与の適正使用（COVID-19 では酸素投与が必要な患者に限定）がより一層求められている現在、参考になる文献と考え紹介致しました。

要約作成者：昭昭和大学 統括研究推進センター /

医学部内科学講座腎臓内科学部門

長谷川 毅